

酒田っ子

すくすく

第143回



子育て講座

東北公益文科大学 名誉教授
國眼 眞理子 先生

「競争する」

ユウさんは、友だちや先生の温かいまなざしに支えられて、これまでどちらかと言うと、のんびりした環境で育ってきました。ほめられたり認められたりする経験はたくさんしてきましたが、人と競い合ったり、負けて悔しい思いをしたりするという経験があまりありません。これから学年が上がっていくにつれ、このままで果たしてやっていけるのだろうか。これまで順調だっただけにこれから先、人に打ち負かされるような経験をしたり、壁にぶつかったりしたとき「もうだめだ」「できない」と落ち込んだり「ムリ」と早々におりてしまったりしないか。ママやパパは内心心配できなかったがありません。ここはあえて人との競争を意識させること

も必要なのだろうかと迷います。

しかし競争には、他者とのそれもありますが、昨日までの自分や今の自分との競い合いもあります。「きのうと比べてきょうの出来具合はどう?」「10点満点でいうと、きょうの調子は何点くらい?」と自分を振り返る経験を促すこともできます。

もし「3点くらいかな」という答えが返ってきたとしたら「じゃあ、あと1点上げるには、どうすればいい?」「どんな工夫ができるかな」と問いかけてみてはどうでしょう。

10点満点でなくてもいいのです。時には失敗したっていい。でも自分なりに工夫して、うまくいったりうまくいかなかったりする経験やそれを意識することが、自分で状況を変えられるという自己効力感や自己肯定感を育みます。そしてやがて人との競争でも、結果としての勝ち負けだけではなく「結果を生かせる」競い合いができるようになると思います。ぜひその子なりのステップで成長を見守ってあげてください。



日本海と大地がつくる 水と命の循環

鳥海山・飛鳥ジオパーク

リレーコラム

国際観光課観光戦略係

☎26-57759

第124回

国際交流にもっとも大事なこと

世の中はますますグローバル化しています。今は旅に出なくても国際交流ができる時代です。ユネスコ世界ジオパーク認定を目指している鳥海山・飛鳥のエリアでも、日常生活の中で、お店やスーパー、職場などで外国人に会う機会がこれからもっと増えるでしょう。そのときにどう反応しますか。「英語が苦手だから」と思っ

て話を避けるのか、日本人に接するときと同じように「こんにちは」と温かくあいさつするのか。私の両親が日本に遊びに来たとき、趣味で入っていた合唱団の練習に連れて行き、皆と一緒に歌ったことがあります。共通言語はなかったですが、音楽が大好きという想いは共通でした。「コミュニティ」に受け入れてもらった気持ちになって、感動した」と二人とも言っていて、旅の一



▲言葉を使わないゲームを一緒に楽しむ様子



一般社団法人鳥海山・飛鳥ジオパーク
推進協議会事務局
国際交流員
カトリナー・キリンジャー氏